

既存の機械学習のモデルを利用して解析手法を変更したい。

F A Q 種 別： 基本操作

対 象 製 品： ERDAS IMAGINE Core

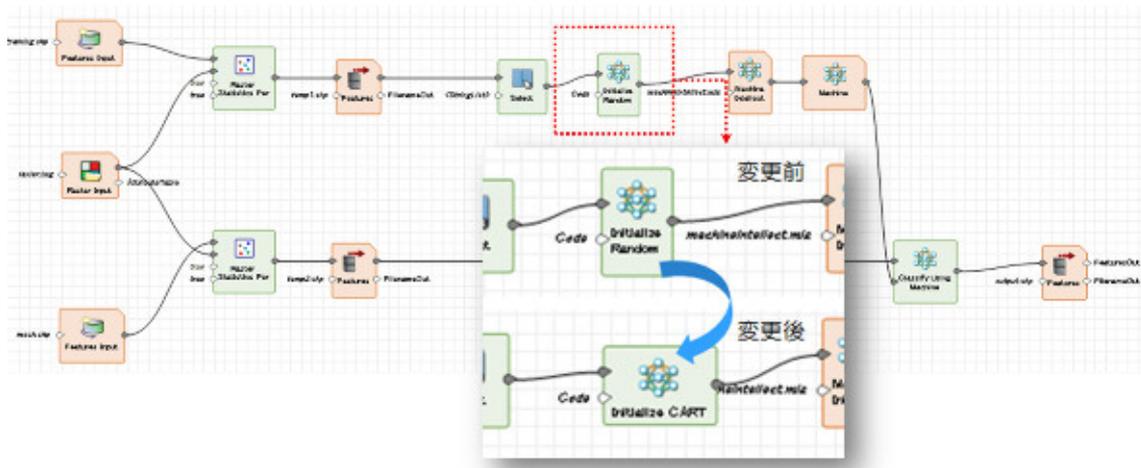
利 用 機 能： Spatial Modeler

備 考： このFAQは2018(Version 16.5.0000 Build 850)で作成しています。
対象ライセンスは Professional 以上です。

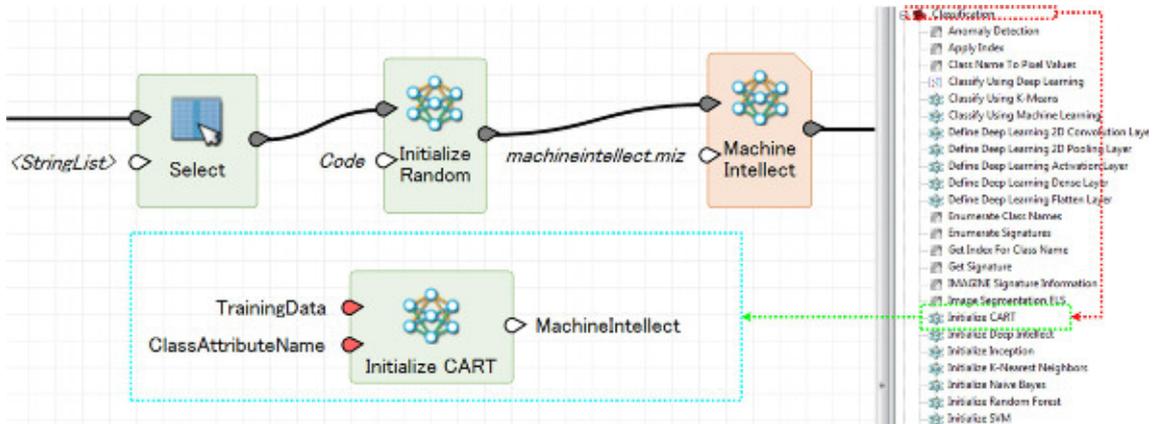
■ 機械学習の解析手法の変更方法

ERDAS IMAGINE の Spatial Model で作成した機械学習のモデルに対して、解析手法のみを変更して、再度機械学習のモデルの処理を実行する場合がございます。解析手法を変更する場合には、解析手法を指定するためのオペレータを新たに入れ替えるのみです。ここで利用できる解析手法とは下記の通りです。本稿では、Spatial Model で作成したモデルに対して、Random Forest 法から、決定木(CART)法に変更する方法を紹介します。

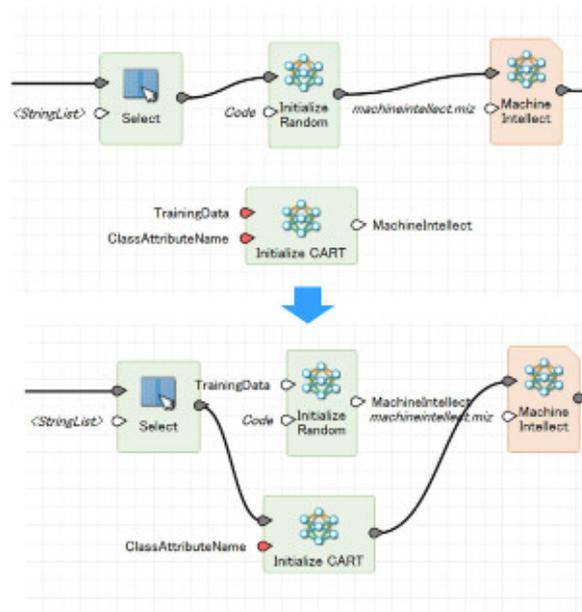
- 決定木法(CART) 法
- Random Forest
- SVM(Support Vector Machine)法
- K-Nearest Neighbor 法
- Bayes 法



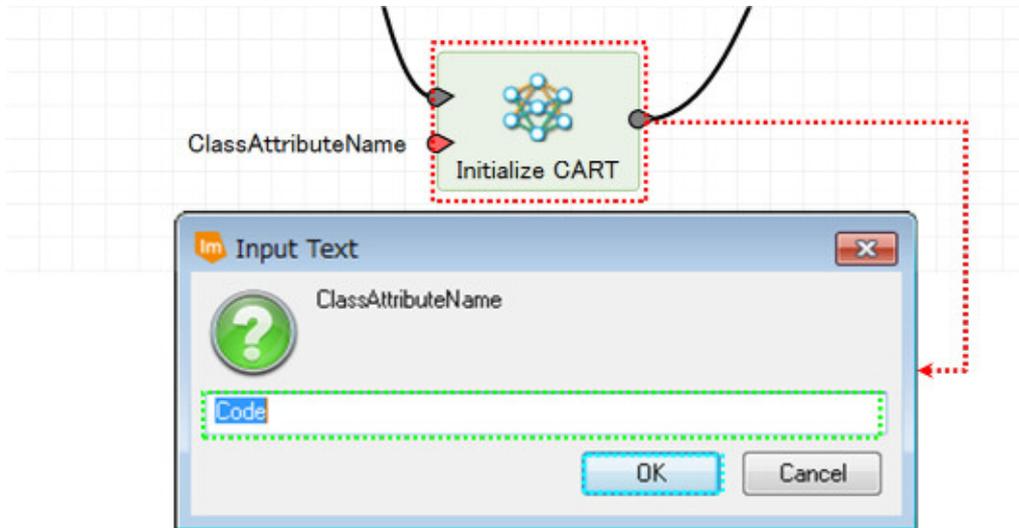
- ① 解析手法を指定するため、『Operators パネル > Classification カテゴリ > Initialize CART オペレータを、Spatial Model Editor ビュー内にドラッグ&ドロップ』します。



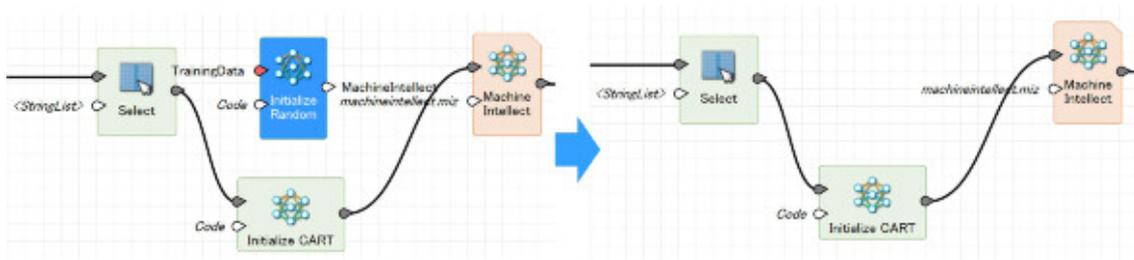
- ② オペレータを接続するため、『Select Attributes オペレータの Features Out ポートをドラッグ > Initialize CART オペレータの Training Data ポートへドロップ』します。次に、『Initialize CART オペレータの Machine Intellect ポートをドラッグ > Machine Intellect Input オペレータの Machine Intellect ポートへドロップ』します。



- ③ 解析手法のオペレータに、判定の元となる属性(今回は Code)を指定するため、
『Initialize CART オペレータの Class Attribute Name ポートをダブルクリック >
Input Text ダイアログにて属性(今回は Code)を入力 > OK をクリック』します。



- ④ Initialize Random Forest オペレータを削除するため、Initialize Random Forest オペレータを選択し、Delete キーを押します。



- ⑤ モデルが作成されたことを確認します。

